

講義名	対2)スポーツマネジメント論			授業形態	
担当教員	青山 将己	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

スポーツマネジメントは、スポーツに関連する組織や団体だけでなく、ビジネスや産業といった複合的な要素を普及・振興させ、発展させていくものとして注目されている。本授業は、スポーツマネジメントの基礎的な概念を学ぶとともに、スポーツにおける「ヒト・モノ・カネ」といった資源のマネジメント方法について理解することを目的とする。また、様々な事例をもとに、現場での問題点や解決策について議論する。

到達目標

本授業の到達目標は、以下のとおりである。
 1) スポーツマネジメントに関する基礎的な知識を習得することができるようになる。
 2) スポーツマネジメントに関する「ヒト・モノ・カネ」の流れについて理解を深めることができるようになる。
 3) スポーツマネジメントに関する現場での事例を理解し、問題点や解決策を見つけることができるようになる。

提出課題

授業のおわりに、その日のポイント・動画の感想等のミニレポートをレスポンスにより、提出する。また、中間レポートと期末レポートを実施する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の授業において、前回の授業の振り返りを行う（Kahoot!を使用）。その際、提出されたレポートの内容に関する講評を行う。

評価の基準

各回のミニレポート（30%）、中間レポート（30%）、期末レポート（40%）。

履修にあたっての注意・助言他

遅刻者は、開始後15分以内とし、静かに着席すること。講義中の質問は加点する。授業中の私語は厳禁で、使用を指示しない限り、スマホ使用を禁止とする。

教科書

.使用しない。

参考図書

.スポーツマネジメント.	原田宗彦ほか	大修館書店			

その他

プリント資料は必要に応じて配布する。

授業計画

- オリエンテーション
- スポーツチームのマネジメント
- スポーツリーグのマネジメント
- トップスポーツ選手へのマネジメント
- 大学スポーツのマネジメント
- スポーツ組織のマネジメント
- スポーツファンのマネジメント
- 子どもスポーツのマネジメント
- 健康スポーツのマネジメント
- パラスポーツのマネジメント
- スポーツイベントのマネジメント
- スポーツイベントのマネジメント
- スポーツボランティアのマネジメント
- スポーツメディアのマネジメント
- 振り返り、まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：2時間（自習のシラバスを確認し、参考文献、ネット等でその内容を事前に把握する。）
 復習：2時間（授業における配布資料に再度目を通し、学んだことの振り返りを行う。）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業を通して、スポーツマネジメントに関する基礎知識を身に付け、健康・スポーツ関連産業の理解を深めることができることから、本学部のディプロマポリシーの達成に大きく貢献できる科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

考える授業を導入し、授業中に質問し、解答したことを加点する。また、レスポンスの内容を吟味し、質問や疑問に対して、回答するようにする。

実務経験の有無及び活用

マスターズスポーツイベントの運営、イベントにおける質問紙調査の実施と分析など。

備考